

資料4

地域ESCO WG 報告資料

第11回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所: 秋田市環境部 大会議室

平成26年3月20日(木)

平成25年度 あきたスマートシティ地域ESCO WG 活動報告

目次

1. 地域ESCO&地域LEED ワーキンググループ 活動報告

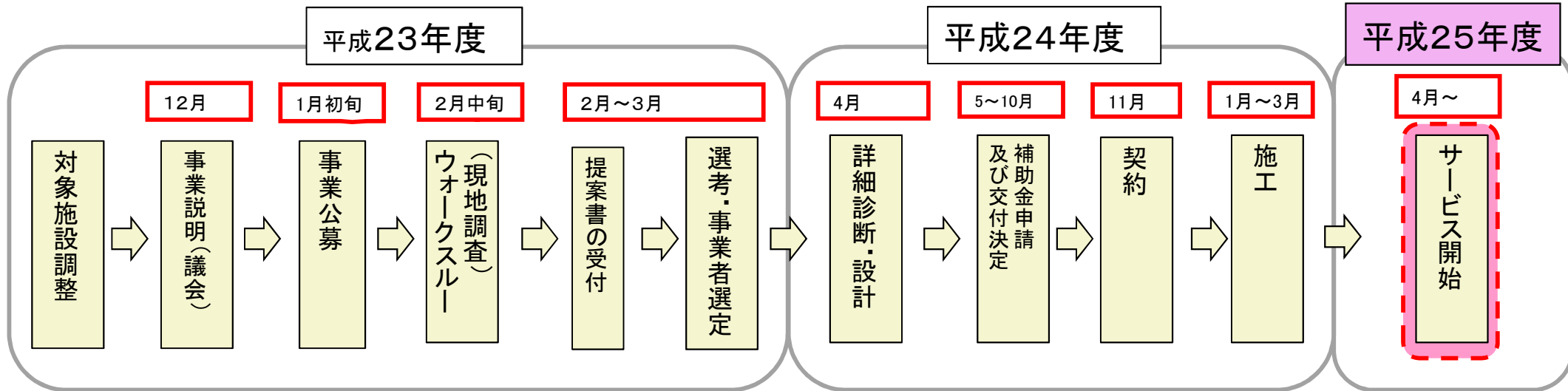
1-1 あきたスマートシティ地域ESCO事業に関して

1-2 ESCO講習会 ～小規模なESCO事業の可能性を探る～ に関して

1. 地域ESCO&地域LEED ワーキンググループ 活動報告

1-1 あきたスマートシティ地域ESCO事業に関して

実施スケジュール



本年度活動内容(予定)

4月	ESCOサービスの提供を開始
4~3月	契約書に基づくESCO設備に関する保守及びメンテナンス等のサービス業務の提供
3月	省エネ効果等の報告

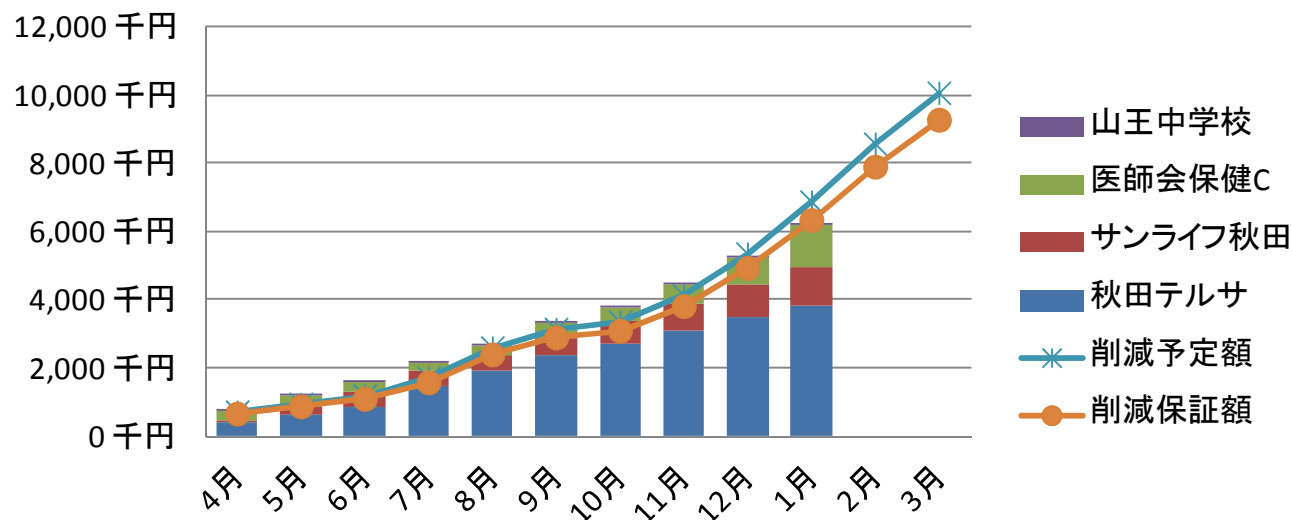
1-1 あきたスマートシティ地域ESCO事業に関して

●あきたスマートシティ地域ESCO事業本年度実績(平成26年1月終了時点)

注記)本数値は気象条件や稼働状況などの補正がされていないものであり、最終報告書の数値とは異なる可能性がありますことを御承知おきください。

H25年度累積削減額(千円)	秋田テルサ	サンライフ秋田	秋田市医師会保健センター	山王中学校	4施設合計
ベースライン比	3,805	1,147	1,206	28	6,186

累積削減額の推移(ベースライン比)



平成26年1月末の時点での削減保証額6,321(千円)に対して
98%の出来高にて運用中
(削減保証値を**135**千円未達)

年間削減補償額9,261(千円)に対しては66.8%の出来高

1-2 ESCO講習会 ～小規模なESCO事業の可能性を探る～ に関して

1 目的

比較的小規模なESCO事業について、専門家による既存施設の省エネ改善手法やその効果などを検討し、ESCOの手法への理解を深めることで、地元企業が実施できるESCO事業の可能性を探っていくもの。

省エネ設備の導入時に活用可能な補助金支援策やその活用事例、秋田市の事例紹介等もあわせて実施。

2 開催概要

(1) 開催回数 全3回

1回目 2月 4日(火) 13:30-16:30

2回目 2月18日(火) 13:30-16:30

3回目 2月28日(金) 13:30-16:30

(2) 開催場所 秋田県青少年交流センター(ユースパル) 3階中研修室A

(3) 主催 秋田市環境部環境総務課

(4) 参加者 秋田市内の建築設備関係者、その他関係機関、関係団体

(5) 参加費 無料

(6) 定員50名(参加者:40名弱)

1-2 ESCO講習会 ～小規模なESCO事業の可能性を探る～ に関して

3 講習内容

(1) 1日目 (講師: ジョンソンコントロールズ(株) 割田氏)

- ア ESCO事業の仕組みについて(概要説明)
- イ 秋田市におけるESCO事業 事例紹介(秋田スマートシティ地域ESCO事業)
- ウ ESCO事業導入のプロセス
事前診断、改修工事、削減保証の手法などの紹介
- エ ESCO事業における計測・検証
計測・検証手法などの紹介

(2) 2日目

- ア ESCO事業のリスクについて(講師: ジョンソンコントロールズ(株) 割田氏)
ESCO事業期間中のリスクの事例並びに回避方法などの紹介
- イ 県有施設におけるESCO事業導入事例について
説明者: 秋田県出納局財産活用課 施設マネジメント班
県立ふるさと村(秋田県横手市)等の導入事例を紹介
- ウ 平成26年度事業紹介(秋田県・秋田市)
説明者: 秋田県生活環境部温暖化対策課 調整・省エネルギー一班
秋田市環境部環境総務課地球温暖化対策担当

1-2 ESCO講習会 ～小規模なESCO事業の可能性を探る～ に関して

(3) 3日目

ア 設備導入補助金支援策について

講師:(有)エスコ秋田 鈴木氏

補助金事業活用の流れ、申請条件など

イ 秋田県内における補助金活用事例・他

講師:(有)エスコ秋田 嶋宮氏

省エネルギー診断・診断書の見方、カーボン・オフセット、秋田版ESCO事業提案

4 広報について

参加企業に対する周知依頼を下記の団体宛に行った

(1) 社団法人秋田県電業協会(秋田市山王三丁目1番7号 東カンビル)

(2) 秋田県空調衛生工事業協会(秋田市山王臨海町3番18号)

(3) 秋田県建築士事務所協会(秋田市山王三丁目1番7号 東カンビル)

その他、地元金融機関などに個別で案内を行った

1-2 ESCO講習会 ~小規模なESCO事業の可能性を探る~ に関して

日刊 秋田建設五業新聞 平成26年2月5日(水) (3)

秋田市の小規模ESCOでノウハウ学ぶ 秋田市で初のESCO講習会

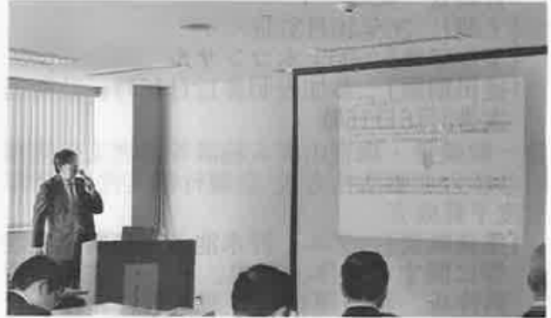
秋田市環境総務課は4日、秋田市寺内の秋田県青少年交流センター（ユースパル）でESCO講習会の1日目を開催、設備業者など34名が参加した。ESCOに関する講習会は市内で初の試み。公共事業などでESCOを実施するのは大企業が多いため、ESCOの手法を活用した小規模事業への地元中小企業参入を後押しする狙いがある。

講習会に先立ち、秋田市環境総務課の三浦勉地球温暖化対策担当課長があいさつし、「大規模事業が多い中、市内中小企業も取り組める小規模なESCO事業を見据えての講習会。ノウハウを身につけていただき、市内企業によるESCO事業の定着に期待したい」と述べた。

講師にはジョンソンコントロールズ株式会社ビルディングシステムズサービス統括本部・エネルギーソリューションセンターES2グループ長の割田保和氏を迎え、ESCO事業の定義や秋田市の事業内容、エネルギー削減

項目の着目点や事業計画の検討プロセスのほか、顧客に状況を証明する重要行為とされている計測・検証などが説明された。割田氏は小規模ESCOの問題点として、省エネ量算定のほか、計測検証・保証部分で計測機器の設置による事業費の圧迫や人的能力などの負担が大きいことを挙げた。そのうえで、今後の検討課題にはメーカーが作成した計算ツールの有効活用など、省エネ量を簡易的に認定できる仕組みづくりや、税制優遇制度・補助金制度の新設など財政面の支援などが必要とした。

講習会は今年18日に2日目（リスク・契約、県の状況説明）、28日に3日目（資金調達、国の補助制度など）がユースパルで開かれる。



【小規模ESCOのノウハウを習得する講習会】

電気工事担当者の住宅の省エネ促進ESCO事業学ぶ ユースパルで講習会

住宅施設などの省エネ化を促進するESCO（エスコ）事業について学ぶ講習会が4日、秋田市寺内の県青少年交流センター・ユースパルで開かれ、市内の電気工事会社や設備会社の担当者ら約40人が参加した。秋田市の主催。講習会は今回を含め計3回開か

れる。ESCOはエネルギー・サベンス・カンパニーの略。ESCO事業として省エネイデット(LED)や太陽光パネルなどを設置した場合、施工費は実際に削減できた光熱費分を初期負担を即ち省エネ設備が導入でき、施工者は新工期での呼びかけとなること期待できるといふ。

市は昨年、ESCO事業と

た。この発行を手掛けたのが郡山市、本社米谷のエネルギーソリューション・グループである。郡山市は「(1)が講師を務める」が、秋田市のESCO事業について説明した。講習会には秋田市のESCO事業について説明した。講習会には秋田市のESCO事業について説明した。

この講習会は、郡山市、本社米谷のエネルギーソリューション・グループである。郡山市は「(1)が講師を務める」が、秋田市のESCO事業について説明した。講習会には秋田市のESCO事業について説明した。

郡山市、本社米谷のエネルギーソリューション・グループである。郡山市は「(1)が講師を務める」が、秋田市のESCO事業について説明した。講習会には秋田市のESCO事業について説明した。

郡山市、本社米谷のエネルギーソリューション・グループである。郡山市は「(1)が講師を務める」が、秋田市のESCO事業について説明した。講習会には秋田市のESCO事業について説明した。

秋田さがげ 2014.2.9付

1-2 ESCO講習会 ～小規模なESCO事業の可能性を探る～ に関して

今後の課題と事業の進め方について

1 新たな市有施設に対するESCO事業の展開

- (1) 「平成24年度ESCO事業導入可能性調査」に基づく第2次スマートシティ地域ESCO事業の模索
- (2) 特に、体育館等の照明施設のLED化について検討を行いたい

2 市内業者による小規模ESCO事業の可能性の模索

- (1) 市内業者を活用した小規模な市有施設に対するESCO事業に関する課題の抽出
簡易な制度設計や財政的支援策等
- (2) 他自治体での取り組み事例などを参考にして、秋田モデルの立案を議論